



トラックマン
で検証

ヘッド
スピード **40m/秒で**
250ヤード近くも
飛んじやった!



適合ドライバーだと
この初速は
ありえません!

反発係数は驚異の**0.86!**



ドームカップ
フェース構造で
伝達効率もアップ!

反発係数だけでなく、丸みのあるドームカップフェース構造によって広範囲で高い反発性能を誇る



独自のフェース構造でルール上限を超える0.86以上の反発係数を実現。0.88を超える「SUPER Hi-COR」も同時発売

アクセル
ゴールド プレミアム
ドライバー

●ヘッド素材／SAT2041 β Ti カップ（フェース）、Ti-811・カーボン＋ウエイト 40g（ボディ） ●体積／460cc ●ロフト角／10.5（Hi-COR）、11.5度（SUPER Hi-COR） ●長さ／46インチ ●シャフト（フレックス）／AXEL GOLD6 専用カーボン（R、S） ●価格／13万2000円

08年以降、反発係数を0.83以内に抑えるSLEルールがはじまり、大手メーカーから発売されるドライバーはほぼルール適合モデルになった。令和の試打職人・石井良介も最近ほとんど高反発ドライバーを打っていないそうだ。さっそくアクセルゴールドプレミアムを打ってもらった。「トラックマンでは出ないミート率が出ました! ミート率はルール適合のドライバーでは1.50出るとすごく飛ぶといわれますが、アクセルゴールドプレミアムは1.53。ヘッドスピード40m/秒でも250ヤード近く飛びました!」ルール適合の反発係数が0.83以下なのに対して、アクセルゴールドプレミアムは0.86以上。相性や感覚の問題ではなく物理的に飛ぶようになっている。

石井良介が「驚きの飛距離性能」を絶賛!

ヘッドもシャフトもルール不適合の

超・ぶっ飛び系 つるや アクセルゴールド プレミアム



試打・解説＝石井良介

●いしい・りょうすけ／1981年生まれ、神奈川県出身。北は北海道、南は九州まで日本全国でレッスンをこなすティーチングプロ。ギアの造形にも深く、クラブ解説も行なえる稀有な存在。

ゴルファーなら誰もが「飛ぶドライバーが欲しい」と願うもの。その願いをSLEルール（※）不適合で叶える興味深いモデルがつるやから登場した!



（※）R&A、USGAが定めたクラブヘッドの反発性能を制限するルール。プロの試合や一部のアマチュア競技では反発係数（COR）を0.83までと制限している

3Wの弾道データ

ヘッドスピード	38.2m/秒
ボールスピード	57.7m/秒
ミート率	1.51
打ち出し角	19.8度
スピン量	3061rpm
飛距離	230.8ヤード



アクセル ゴールド プレミアム FW

●ヘッド素材／SAT2041 β Ti カップ(フェース)、6-4Ti+ ウェイト 80g (ボディ) ●番手 (ロフト角)／#3 (15度)、#5 (18度)、#7 (21度) ●シャフト (フレックス)／AXEL GOLD6 専用カーボン (R、S) ●価格／7万 7000 円

アクセル ゴールド プレミアム UT

●ヘッド素材／SAT2041 β Ti カップ(フェース)、6-4Ti+ ウェイト 100g (ボディ) ●番手 (ロフト角)／U5 (20度)、U 6 (23度) ●シャフト (フレックス)／AXEL GOLD6 専用カーボン (R、S) ●価格／6万 6000 円

5Uの弾道データ

ヘッドスピード	36.2m/秒
ボールスピード	54.3m/秒
ミート率	1.50
打ち出し角	22.8度
スピン量	4551rpm
飛距離	194.3ヤード

FW、UTもルール不適合でドライバー級のボールスピードを実現 3W、5Uのミート率 1.5以上！

「FWは80g、UTには100gのタングステンフェースに近いエリアに内蔵したことで低重心化に成功。それが弾道の高さにつながっている。また、石井は「一般ゴルフアがゴルフを楽しむためのクラブは一切規制されていません。それなら飛ぶクラブを選んだほうがゴルフは楽しい」と語った。

「一般的にFWやUTで飛距離性能が高いモデルは、ロースピンで打ち出しが低かったりしますが、アクセル ゴールド プレミアム は打ち出し角が高く、高弾道。飛距離性能だけではなく、やさしさも魅力です」

FWは80g、UTには100gのタングステンフェースに近いエリアに内蔵したことで低重心化に成功。それが弾道の高さにつながっている。また、石井は「一般ゴルフアがゴルフを楽しむためのクラブは一切規制されていません。それなら飛ぶクラブを選んだほうがゴルフは楽しい」と語った。

「適合モデルだとドライバーでミート率が1.5出たらすごいのですが、アクセル ゴールド プレミアム は3Wや5Uでもミート率が1.5以上。つまりドライバー級の飛距離性能です」

飛距離性能だけではなく、FWやUTは弾道が高い。

「一般的にFWやUTで飛距離性能が高いモデルは、ロースピンで打ち出しが低かったりしますが、アクセル ゴールド プレミアム は打ち出し角が高く、高弾道。飛距離性能だけではなく、やさしさも魅力です」

FWは80g、UTには100gのタングステンフェースに近いエリアに内蔵したことで低重心化に成功。それが弾道の高さにつながっている。また、石井は「一般ゴルフアがゴルフを楽しむためのクラブは一切規制されていません。それなら飛ぶクラブを選んだほうがゴルフは楽しい」と語った。



ドライバーのヘッドスピード35～40m/秒の人が打つと必ず飛距離が伸びるでしょう！

「とくにヘッドスピード35から40m/秒のゴルファーが、もっとも飛距離を伸ばせると思います」(石井)

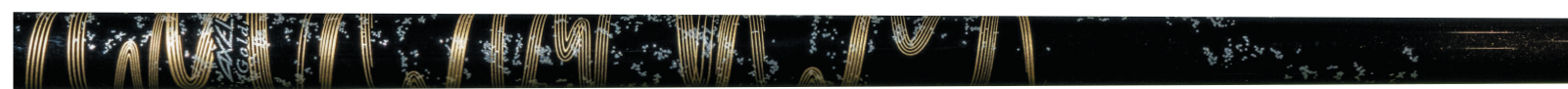


オフセンターヒットにも強いツインフェースチャンネルを採用

フェースの裏面全周に2本の溝を配置したツインフェースチャンネル構造によって、オフセンターヒットでも飛距離のロスが少ない



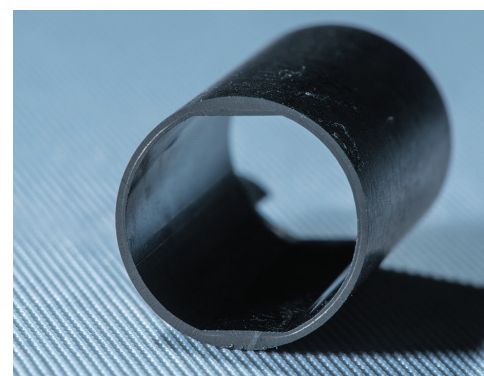
ミート率アップの秘密はシャフトにもアリ！



フジクラと共同開発！

異方向でしなりが変わるシャフトが驚異のヘッドスピードを生む！

※ドライバーのみ採用



前後と左右でシャフトの肉厚を変えている

フジクラシャフトと共同開発したシャフトは正面方向だけシャフトを厚くすることで、トゥダウン現象を抑制

ヘッドスピードが約2m/秒も上がる！

石井良介が令和の試打職人と呼ばれる理由のひとつが、1球目から要望どおりのヘッドスピードで打てること。しかし、アクセル ゴールド プレミアム ではなかなか設定した速さを出せなかった。

「このシャフトはすごくスピード感がありつつ、トゥダウンしません。だから40m/秒で振ったつもりが42m/秒になってしまう。結果的に37、38m/秒くらいの感覚で打

スイング方向には強くしなるのにトゥダウンが少ない



つと40m/秒になりました」

じつはシャフトにもルール制限があり、競技で使うシャフトはすべての方向に対して同じしなり方をしないといけないが、アクセル ゴールド プレミアム は横方向(目標方向)はやわらかくしてしなりが大きいのに対して、正面方向はシャフトを厚めにしてしなりを抑えている。だからトゥダウンが起きにくい。トゥダウンが少ないことで芯に当てやすく、それもミート率を高める要因のひとつだ。

「トゥダウンを抑えたことで、フェースがスクエアのままインパクトしやすい。打点も安定していました」(石井)